

施設管理

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

1 基本項目	事務事業名	健康センター運営事業			担当部署	課名	健康センター	
	予算事業名	健康センター運営費				係名	健康づくり係	
	事業区分	自治事務				電話番号	0765-24-3999	
	事業期間	開始年度	昭和61年度	終了年度	継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち				款	衛生費
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築				項	保健衛生費
施策名		25 健康づくりの推進			目		健康センター費	
基本事業名	25-1 健康意識の高揚			市民協働の状況	協働になじまない			

2 事業概要	事業概要	健康センターを適正に維持管理運営する。	
	対象	健康センター利用者、健康センター施設	
	手段 (活動指標)	効率的に施設維持管理事務を行う。	
	意図 (成果指標)	円滑な運営により、利用者が安全に利用し、満足して利用できる施設となる。	

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 健康センター利用者	人	17,400	16,666	17,300	15,254	88.2%	17,000
	② 施設修繕箇所数	箇所	10	10	10	13	130.0%	5
	③ 光熱水費	円	1,149,000	997,802	1,149,000	1,128,597	98.2%	1,149,000
成果指標	① 健康センター利用者数の割合 (のべ利用者数/市民)	%	39.2	37.6	38.0	35.9	94.5%	35
	② 施設修繕実施率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%	100.0
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	2,220,000	1,919,884	2,173,525	2,078,775	8.3%	1,883,000
	② 委託料	円	1,758,000	1,654,128	1,685,000	1,657,488	0.2%	1,712,000
	③ 工事請負費	円				0		
	④ 負担金補助及び交付金	円	82,000	57,853	66,000	58,228	0.6%	63,000
	⑤ その他	円	490,000	478,223	487,000	475,973	-0.5%	488,000
	支出合計 (A)	円	4,550,000	4,110,088	4,411,525	4,270,464	3.9%	4,146,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他 (使用料、雑入等)	円			9,000	7,204		73,000
	⑤ 一般財源	円	4,550,000	4,110,088	4,402,525	4,263,260	3.7%	4,073,000
	収入合計	円	4,550,000	4,110,088	4,411,525	4,270,464	3.9%	4,146,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	② 年間所要時間	時間	400	400	400	400	0.0%	400
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1,680,000	1,680,000	1,680,000	1,680,000	0.0%	1,680,000
	総費用 (A+B)	円	6,230,000	5,790,088	6,091,525	5,950,464	2.8%	5,826,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	光熱水費の削減に努めた。	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
6 評価	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
	有効性		B	目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
効率性		B	上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い	
			コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い	
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
	1次評価 (課長総括)		B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
	後の評価 (課題及び今後)	施設は築27年が経過し、冷暖房等老朽化が進んでいるため、計画的な補修繕が必要である。また、新築される労災病院の近隣に、健康センター機能と包括支援センター機能を含めた保健・医療・介護連携拠点施設の建設が決定しているため、現在の健康センターをどのようにするか、検討していく必要がある。			評価結果		

ソフト事業

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

1 基本項目	事務事業名	一次救急体制支援事業		担当 部署	課名	健康センター		
	予算事業名	一次救急体制支援事業			係名	健康センター		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-24-3999		
	事業期間	開始年度	S52	終了年度	継続	予算 科目	会計	一般会計
	総合 計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち				款	衛生費
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築				項	保健衛生費
		施策名	24 地域医療体制の充実				目	健康センター
	基本事業名	24-1 救急医療体制の充実		市民協働の状況	協働になじまない			

2 事業概要	事業概要	市民の生命と健康を保持するための初期救急体制として、在宅当番医制の実施により休日の急病及び災害事故等の救急医療機関を確保する。	
	対象	休日に医療サービスを求める人	
	手段 (活動指標)	休日の診療を行う在宅当番医の調整を魚津市医師会に委託し、在宅当番医制を行う。	
	意図 (成果指標)	休日在宅当番医療機関の確保により、休日においても早期に医療サービスを受けることができる。	

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動 指標	① 休日在宅当番制の実施日数	日	74	74	75	74	98.7%	75	
	② 休日在宅医療診療人数(平均)	人	30.0	25.7	26.0	32.6	125.4%	30.0	
	③								
	成果 指標	① 休日診療受診者数/魚津市民	%	5.1	4.5	4.5	5.5	122.2%	4.5
		② 救急医療体制に満足している市民の割合	%	43.0	43.6	46.0	42.6	92.6%	43.0
		③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出 内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0.0%	2,000,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円						
	支出合計(A)	円	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0.0%	2,000,000
財源 内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0.0%	2,000,000
	収入合計	円	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0.0%	2,000,000
人件 費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	1	1	-50.0%	1
	② 年間所要時間	時間	300	300	100	100	-66.7%	100
	③ 人件費(②×@4,200円)(B)	円	1,260,000	1,260,000	420,000	420,000	-66.7%	420,000
	総費用(A+B)	円	3,260,000	3,260,000	2,420,000	2,420,000	-25.8%	2,420,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	魚津市医師会が調整した休日在宅当番医が、比較的軽症な救急患者の診療を行う。	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
	妥当性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり
目的の妥当性					<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
対象の妥当性					<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
有効性			B	目標達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効率性		B	コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い	
			実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない	
			負担割合の適正化	<input type="checkbox"/> 1 適正である	<input checked="" type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない	
	1次評価 (課長総括)		B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
	後の評価 (課題及び方針) 結果	平成28年11月にオープンする富山労災病院内急患センターの運営や体制について、協議を進めていく。富山労災病院内急患センターの開設後は、在宅当番医制を平行して実施していくことになっているが、この体制についても3年間で見直すことになっている。			評価結果		

ソフト事業

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

1 基本項目	事務事業名	地域中核病院支援事業		担当 部署	課名	健康センター		
	予算事業名	地域中核病院支援事業			係名	健康づくり係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-24-3999		
	事業期間	開始年度	H18	終了年度	継続	予 算 科 目	会計	一般会計
	総合 計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち				款	衛生費
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築				項	保健衛生費
施策名		24 地域医療体制の充実			目		健康センター費	
	基本事業名	24-1 救急医療体制の充実		市民協働の状況	協働になじまない			

2 事業概要	事業概要	魚津市唯一の総合病院である富山労災病院へ、がん拠点病院としての高度機器の貸与等を行うことにより、地域医療の役割を担ってもら。あわせて「富山労災病院を支援する会」の活動を行う。
	対象	市民 富山労災病院
	手段 (活動指標)	PET/CT及び放射線治療装置（リニアック）の貸与及び保守。労災病院を支援する会の運営。
	意 図 (成果指標)	がんの早期発見から早期診断を一連の同病院で行うことにより、市民にとって身近な地域での安心した医療体制を作る。

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動 指標	① PET/CT検査受診者数（市助成分）	人	120	193	200	181	90.5%	200
	② 清掃ボランティア参加者数	人	500	400	500	430	86.0%	500
	③							
成果 指標	① 要精密検査率（市助成分）	%	20.0	19.2	20.0	15.5	77.5%	20.0
	② がん死亡率（人口10万対）	%	330.0	330.5	330.5	年末公表予定		330.5
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出 内訳	①需用費	円						
	②委託料	円						
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円	74,764,000	74,459,160	74,764,000	74,459,160	0.0%	75,240,000
	支出合計（A）	円	74,764,000	74,459,160	74,764,000	74,459,160	0.0%	75,240,000
財源 内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他（使用料、雑入等）	円	32,148,000	32,149,000			-100.0%	
	⑤一般財源	円	42,616,000	42,310,160	74,764,000	74,459,160	76.0%	75,240,000
	収入合計	円	74,764,000	74,459,160	74,764,000	74,459,160	0.0%	75,240,000
人件 費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	②年間所要時間	時間	100	100	100	100	0.0%	100
	③人件費（②×@ 4,200円）（B）	円	420,000	420,000	420,000	420,000	0.0%	420,000
	総費用（A+B）	円	75,184,000	74,879,160	75,184,000	74,879,160	0.0%	75,660,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	PET/CT及び放射線治療装置（リニアック）の貸与及び保守。労災病院を支援する会の運営。	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
妥当性	妥当性		C	自治体関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 1 妥当である	<input checked="" type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
有効性	有効性		B	目標達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効率性	効率性		C	コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input type="checkbox"/> 1 適正である	<input checked="" type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				負担割合の適正化	<input type="checkbox"/> 1 適正である	<input checked="" type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
	1次評価 (課長総括)		C	事業の進め方・内容について見直しが必要	2次評価	不要	
	後(評価 方針)結果 今	市内唯一の総合病院として、地域に根ざした病院となるよう継続した支援を必要とする。しかし、がん死亡率は以前高く、がんの早期発見早期治療に資するため、今後も有効利用を図っていく必要がある。			評価 結果		

1 基本項目	事務事業名	感染症予防対策事業			担当課	健康センター		
	予算事業名	感染症予防対策事業			係名	健康づくり係		
	事業区分	法定受託事務			電話番号	24-3999		
	事業期間	開始年度	昭和30年度	終了年度	当面継続	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち				款	衛生費
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築				項	保健衛生費
		施策名	25 健康づくりの推進				目	予防費
基本事業名		25-3 予防対策の推進			市民協働の状況	協働になじまない		

2 事業概要	事業概要	結核検診(胸部レントゲン検査)を行う。 その他、感染症予防のための普及啓発活動を行う。	
	対象	(結核検診)65歳以上の市民のうち、職場等で結核検診を受けていない者。(その他の活動)市民全体	
	手段(活動指標)	(結核検診)市内の会場を検診車でまわり、検診を実施する。	
	意図(成果指標)	結核の早期発見、まん延防止	

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 結核検診の受診者数	人	4,000	3,641	3,800	3,743	98.5%	3,800
	②							
	③							
	① 検診での結核発見数	人	1	0	1	1	100.0%	1
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	202,000	185,199	193,000	184,400	-0.4%	431,000
	②委託料	円	2,983,000	2,613,544	2,712,000	2,541,416	-2.8%	3,414,000
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円						
	支出合計(A)	円	3,185,000	2,798,743	2,905,000	2,725,816	-2.6%	3,845,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	3,185,000	2,798,743	2,905,000	2,725,816	-2.6%	3,845,000
	収入合計	円	3,185,000	2,798,743	2,905,000	2,725,816	-2.6%	3,845,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	6	6	5	4	-33.3%	6
	②年間所要時間	時間	580	580	580	400	-31.0%	580
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	2,436,000	2,436,000	2,436,000	1,680,000	-31.0%	2,436,000
	総費用(A+B)	円	5,621,000	5,234,743	5,341,000	4,405,816	-15.8%	6,281,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>各会場での検診の2~3週間前に、近隣住民へはがきで案内し、検診を行う。 レントゲン撮影は検診業者に委託、読影は富山県(厚生センター)に委託している。 結果は、全員に郵送で通知。</p>	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
妥当性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
有効性	有効性		A	目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効率性	効率性		A	コスト効率	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
	1次評価(課長総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後(課題及び今後)			結核の発症は多くはないが、毎年高齢者の発症が見られる。年々、受診率は下がっているものの、この検診においても発見されている。受診率の向上により、結核の早期発見、感染の蔓延を防止することができる。	評価結果		

ソフト事業

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

1 基本項目	事務事業名	インフルエンザ予防接種事業			担当 部署	課名	健康センター		
	予算事業名	予防接種事業				係名	健康づくり係		
	事業区分	法定受託事務				電話番号	24-3999		
	事業期間	開始年度	平成13年度	終了年度	当面継続	予算 科目	会計	一般会計	
	総合 計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち				款	衛生費	
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築				項	保健衛生費	
		施策名	25 健康づくりの推進				目	予防費	
	基本事業名	25-3 予防対策の推進			市民協働の状況	協働になじまない			

2 事業概要	事業概要	高齢者のインフルエンザ発症予防・重症化予防を目的に、インフルエンザ予防接種を行う。	
	対象	①65歳以上の者 ②60歳以上65歳未満の者であって、心臓、じん臓又は呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する者	
	手段 (活動指標)	医療機関でインフルエンザ予防接種を受ける際の接種費用の一部を負担する。	
	意図 (成果指標)	インフルエンザの発病・重症化を予防できる。	

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動 指標	①接種者数(65歳以上)	人	6,400	6,426	6,500	6,636	102.1%	6,330	
	②接種者数(65歳未満)	人	20	15	20	11	55.0%	20	
	③								
	成果 指標	①高齢者施設でのインフルエンザ集団発生件数(公表されたもの)	件	0	0	0	0		0
		②							
		③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出 内訳	①需用費	円	62,800	46,250	63,000	64,190	38.8%	100,920
	②委託料	円	16,858,000	16,152,000	16,858,000	16,015,200	-0.8%	15,300,000
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円						
	支出合計(A)	円	16,920,800	16,198,250	16,921,000	16,079,390	-0.7%	15,400,920
財源 内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	16,920,800	16,198,250	16,921,000	16,079,390	-0.7%	15,400,920
	収入合計	円	16,920,800	16,198,250	16,921,000	16,079,390	-0.7%	15,400,920
人件 費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	②年間所要時間	時間	300	300	240	200	-33.3%	240
	③人件費(②×@4,200円)(B)	円	1,260,000	1,260,000	1,008,000	840,000	-33.3%	1,008,000
	総費用(A+B)	円	18,180,800	17,458,250	17,929,000	16,919,390	-3.1%	16,408,920

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	高齢者が医療機関でインフルエンザ予防接種を受ける際の接種費用の一部を負担した。次年度に向け、新健康管理システムでの接種履歴管理方法等について検討した。	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり
目的の妥当性					<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
対象の妥当性					<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
有効性		A	A	目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
効率性	B	B	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い	
			コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い	
			実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない	
	負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない			
	1次評価 (課長総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後の評価 (課長及び 方針と 結果 を 今)	法令に基づく事業であり実施効果はあると考える。感染症予防や肺炎予防による、医療費削減のために継続して実施する。			評価結果		

ソフト事業

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

1 基本項目	事務事業名	健康診査事業			担当部署	課名	健康センター	
	予算事業名	健康診査事業				係名	健康づくり係	
	事業区分	法定受託事務				電話番号	0765-24-3999	
	事業期間	開始年度	平成15年度	終了年度	継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち				款	衛生費
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築				項	保健衛生費
施策名		25 健康づくりの推進			目		健康増進事業費	
基本事業名	25-2 健康診査体制の充実			市民協働の状況	協働になじまない			

2 事業概要	事業概要	歯周疾患検診・・・市内歯科医院で歯周疾患検診を実施。 一般健康診査・・・健診を受ける機会のない生活保護受給者を対象に健康診査を実施。 肝炎ウイルス検診・・・B型・C型肝炎ウイルス検診を実施。	
	対象	各検診ごとに対象者・対象年齢を設定。	
	手段 (活動指標)	対象者に受診票を個人通知。実施期間内に医療機関及び集団検診会場で受診。	
	意図 (成果指標)	疾病の早期発見・早期治療、医療費の軽減。	

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 歯周疾患検診受診者数	人	140	132	150	117	78.0%	160	
	② 肝炎検診受診者数	人	50	60	60	58	96.7%	60	
	③ 一般健康診査受診者数	人	30	26	30	14	46.7%	30	
	成果指標	① 歯周疾患検診受診率	%	10.0	10.9	10.0	10.2	102.0%	12.0
		② 肝炎検診受診率	%	9.8	11.7	12.0	13.5	112.5%	14.0
		③ 一般健康診査受診率	%	50.0	49.0	50.0	28.0	56.0%	50.0

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	351,000	283,038	287,000	241,464	-14.7%	281,000
	② 委託料	円	669,000	812,716	851,000	664,454	-18.2%	861,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	469,000	488,185	474,000	412,155	-15.6%	476,000
	支出合計 (A)	円	1,489,000	1,583,939	1,612,000	1,318,073	-16.8%	1,618,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円	548,000	590,000	662,000	518,000	-12.2%	666,000
	③ 地方債	円						
	④ その他 (使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	941,000	993,939	950,000	800,073	-19.5%	952,000
	収入合計	円	1,489,000	1,583,939	1,612,000	1,318,073	-16.8%	1,618,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	400	440	400	400	-9.1%	400
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	1,680,000	1,848,000	1,680,000	1,680,000	-9.1%	1,680,000
	総費用 (A+B)	円	3,169,000	3,431,939	3,292,000	2,998,073	-12.6%	3,298,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	肝炎検診及び一般健康診査については、未受診者へ電話勧奨をして受診を促した。	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
	妥当性	妥当性	B	B	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり
目的の妥当性					<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
対象の妥当性					<input type="checkbox"/> 1 妥当である	<input checked="" type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
目標達成度					<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
有効性	有効性	B	B	類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効率性	効率性	B	B	コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
	1次評価 (課長総括)		B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
	後(課題及び今後の方針)の評価結果	受診率は、低迷しているため受診行動を促す取り組みが必要である。 現在肺がん検診の対象者から該当年齢者を選定しているが、事業所等では上記の検診が実施されていない所も多いことから、検診の対象者を該当年齢の全住民に広げる必要がある。			評価結果		

ソフト事業

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

1 基本項目	事務事業名	健康づくり推進事業			担当 部署	課名	健康センター	
	予算事業名	健康づくり推進事業				係名	健康づくり係	
	事業区分	自治事務				電話番号	0765-24-3999	
	事業期間	開始年度	平成18年度	終了年度	継続	予算 科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち				款	衛生費
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築				項	保健衛生費
		施策名	25 健康づくりの推進				目	健康増進事業費
	基本事業名	25-1 健康意識の高揚			市民協働の状況	協働している		

2 事業概要	事業概要	市民の健康づくり意識を高め、総合的な健康づくりを推進するため、市民参加による健康づくり事業を実施する。 ①平成18年度に作成した「魚津市健康増進プラン」の啓発、推進 ②保健衛生推進員や食生活改善推進員などの健康づくりに携わる人材育成と活動支援	
	対象	市民、主に40歳以上の者	
	手段 (活動指標)	①健康講座や教室の開催及び保健衛生推進員や食生活改善推進員の養成と育成 ②健康づくりの啓発：市広報、ホームページ、CATV等のメディアの活用。ミラたん健康ポイント事業の実施。 ③「国保健康事業」を市民課と連携して実施	
	意図 (成果指標)	健康に関する意識が高まり、自ら健康づくりに取り組むことができる。さらには家族の健康（他の世代の健康）も考えることができるようになり、市民全体の健康増進が図られる。	

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 健康づくり事業（教育）実施回数	回	110	184	200	179	89.5%	200
	② 食生活改善推進員独自の活動（集会）回数	回	170	168	170	201	118.2%	170
	③							
成果指標	① 健康づくり事業（教育）延べ参加者数	人	4,000	3,536	4,000	3,812	95.3%	4,000
	② 食生活改善推進員延べ参加者数	人	4,000	4,373	4,400	4,063	92.3%	4,400
	③ 健康であると自覚している人の割合	%	73.5	61.5	62.0	59.5	96.0%	63.0

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	956,000	861,742	1,139,000	1,113,212	29.2%	906,000
	② 委託料	円	245,000	245,000	245,000	207,500	-15.3%	235,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	788,000	777,610	743,000	628,940	-19.1%	1,222,000
	支出合計（A）	円	1,989,000	1,884,352	2,127,000	1,949,652	3.5%	2,363,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円	674,000	674,000	674,000	674,000	0.0%	814,000
	③ 地方債	円						
	④ その他（使用料、雑入等）	円						71,000
	⑤ 一般財源	円	1,315,000	1,210,352	1,453,000	1,275,652	5.4%	1,478,000
	収入合計	円	1,989,000	1,884,352	2,127,000	1,949,652	3.5%	2,363,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	7	6	7	6	0.0%	8
	② 年間所要時間	時間	1,400	1,320	1,400	1,620	22.7%	1,600
	③ 人件費（②×@ 4,200円）（B）	円	5,880,000	5,544,000	5,880,000	6,804,000	22.7%	6,720,000
	総費用（A+B）	円	7,869,000	7,428,352	8,007,000	8,753,652	17.8%	9,083,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	新規事業としてミラたん健康ポイント事業を実施し、市民に対して健康づくりの普及啓発に努めた。	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
妥当性			A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
有効性			A	目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効率性			B	コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
	1次評価 (課長総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後の評価 (課題及び方針) 結果	市民一人一人が主体的に健康づくりに取り組むことができるように、地域組織や健康づくり関係団体と連携して、魚津市健康増進プランを推進していく事が重要となる。			評価結果		

ソフト事業

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

1 基本項目	事務事業名	がん対策事業		担当 課名 係名 電話番号 電 話 番 号 会 計 款 項 目 市民協働の状況	健康センター	
	予算事業名	がん対策事業			健康づくり係	
	事業区分	自治事務			0765-24-3999	
	事業期間	開始年度	昭和40年		終了年度	当面継続
	総合 計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち		一般会計	
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築		衛生費	
施策名		25 健康づくりの推進		保健衛生費		
	基本事業名	25-2 健康診査体制の充実		健康増進事業費		

2 事業概要	事業概要	がんの死亡率減少を目的に、がん検診を実施する。集団検診・施設検診のほか、富山労災病院でのPET/CT検診も実施。	
	対象	魚津市民のうち、職場などでがん検診のない方。胃・大腸・肺・乳房：40歳以上、子宮：20歳以上、前立腺：50～69歳の男性、PET/CT：20歳以上	
	手段 (活動指標)	がん検診受診率の向上に努める。	
	意図 (成果指標)	がんやその他の病気を早期に発見し、早期治療につなげる。	

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動 指標	① 胃がん検診受診者数	人	3,100	2,982	3,100	3,171	102.3%	3,100
	② 乳がん検診受診者数	人	2,400	2,182	2,400	2,125	88.5%	2,200
	③ 胃がん検診受診率	%	21	20.5	20.9	22.0	105.3%	21.0
成果 指標	① 胃がん発見者数	人	15	17	15	15	100.0%	15
	② 乳がん発見者数	人	4	4	5	6	120.0%	5
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出 内訳	① 需用費	円	2,115,000	2,091,000	2,154,000	2,317,855	10.8%	2,638,000
	② 委託料	円	67,912,000	61,192,000	66,137,000	59,648,370	-2.5%	64,039,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	360,000	334,000	359,000	338,282	1.3%	348,000
	⑤ その他	円	5,087,000	5,041,000	5,003,000	4,599,319	-8.8%	5,464,000
	支出合計 (A)	円	75,474,000	68,658,000	73,653,000	66,903,826	-2.6%	72,489,000
財源 内訳	① 国庫支出金	円	3,427,000	3,243,000	2,724,000	2,072,000	-36.1%	1,295,000
	② 県支出金	円	8,462,000	1,243,000	1,172,000	1,186,000	-4.6%	1,756,000
	③ 地方債	円						
	④ その他 (使用料、雑入等)	円	4,173,000	3,799,000	3,932,000	3,334,426	-12.2%	4,013,000
	⑤ 一般財源	円	59,412,000	60,373,000	65,825,000	60,311,400	-0.1%	65,425,000
	収入合計	円	75,474,000	68,658,000	73,653,000	66,903,826	-2.6%	72,489,000
人件 費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	8	5	5	5	0.0%	7
	② 年間所要時間	時間	1,280	1,120	1,120	1,020	-8.9%	1,120
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	5,376,000	4,704,000	4,704,000	4,284,000	-8.9%	4,704,000
	総費用 (A+B)	円	80,850,000	73,362,000	78,357,000	71,187,826	-3.0%	77,193,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<ul style="list-style-type: none"> 自己負担額を軽減する節目年齢に65歳を追加した。 子宮・乳房・大腸の無料クーポン券に加えて、胃の無料クーポン券を対象年齢の方へ配付した。 前立腺がん検診の対象者を50・55・60・65歳から50～69歳へ拡大し、受診方法に集団検診を追加した。 子宮がん検診の受診機関に市外医療機関(県内)を追加した。 特定健康診査と同時実施日を3日、休日検診を4日、託児検診を3日設けた。 各地区での検診から中心部の大きい会場での検診へと変更した。 がん対策推進員によるがん検診普及啓発キャンペーンを全地区で実施した。 	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内 容		
					1	2	3
妥当性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
有効性	有効性		A	目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効率性	効率性		B	コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
	1次評価 (課長総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後(課題及び今後の方針)の評価結果	市における死因別死亡率の一位は悪性新生物(がん)である。早期発見早期治療により死亡を減少させることができるため、今後も受診率の向上に向けた取り組みを進めていく必要がある。			評価結果		

ソフト事業

平成 25年度実績に関する事務事業評価表

1 基本項目	事務事業名	訪問・通所予防事業			担当課	健康センター		
	予算事業名	訪問・通所予防事業			係名	健康づくり係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-24-3999		
	事業期間	開始年度	平成7年度	終了年度	当面継続	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標3 健康かで笑顔あふれるまち				款	衛生費
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築				項	保健衛生費
		施策名	25 健康づくりの推進				目	健康増進事業費
基本事業名		25-3 予防対策の推進			市民協働の状況	協働している		

2 事業概要	事業概要	<機能訓練>市内に居住する老化又は脳卒中の後遺症等で心身の機能が低下している者に対して、その維持回復を図るために必要な助言指導(訓練)を行い日常生活の自立を助けることを目的とする。また、送迎が困難な利用者に対しては、教育実施日に限り、片道のタクシー送迎を実施。 <訪問指導>健康診査の結果、必要な者については訪問指導を実施する。					
	対象	<機能訓練>市内に在住する40歳~64歳の者であって脳血管障害などにより心身に障害をもっている者。<訪問指導>健康診査の結果、指導が必要な者。					
	手段(活動指標)	<機能訓練>(希望される方により)申し込みをしてもらい、利用の決定を行う。隔週火曜日にイベントや教育を主体としたグループに対する活動を行う。<訪問指導>健康診査の結果、必要な者については訪問指導を実施する。					
	意図(成果指標)	<機能訓練>身体機能を維持・向上することで、日常生活を自立した活動的なものとし、普段から社会活動へ参加するようになる。<訪問指導>健診結果より高血圧や糖尿病の受診勧奨の者に対して、訪問による生活習慣改善指導や受診を促すことで疾病の重症化予防を図る。					

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 機能訓練参加者数(延)	人	42	22	24	21	87.5%	0	
	② 訪問数(64歳以下)	人	30	28	30	26	86.7%	35	
	③								
	成果指標	① 参加者で重症化した者の割合	人	0	0	0	0		0
		② 訪問実施率	%	100.0	93.3	100.0	86.7	86.7%	100.0
		③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	10,000	7,742	42,000	39,690	412.7%	0
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	210,000	206,720	210,000	169,500	-18.0%	62,000
	支出合計(A)	円	220,000	214,462	252,000	209,190	-2.5%	62,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円	139,000	137,000	139,000	115,000	-16.1%	34,000
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	81,000	77,462	113,000	94,190	21.6%	28,000
	収入合計	円	220,000	214,462	252,000	209,190	-2.5%	62,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	4	4	100.0%	8
	② 年間所要時間	時間	140	200	400	440	120.0%	500
	③ 人件費(②×@4,200円)(B)	円	588,000	840,000	1,680,000	1,848,000	120.0%	2,100,000
	総費用(A+B)	円	808,000	1,054,462	1,932,000	2,057,190	95.1%	2,162,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	機能訓練については、平成24年度の内容を継続実施。 訪問指導については、対象者設定の基準を見直し、訪問実施率を上げ、生活習慣病の重症化予防に努めた。	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
妥当性	妥当性		B	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 1 妥当である	<input checked="" type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
有効性	有効性		B	類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input checked="" type="checkbox"/> 3 低い
効率性	効率性		B	実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
	1次評価(課長総括)		B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
	後(課題及び結果)			訪問指導については、対象者設定の基準を明確にし、継続した取り組みをすることで、生活習慣病の重症化予防に努める。 機能訓練事業については、継続者が対象外年齢となったため、新規対象者の発掘について、工夫する必要がある。	評価結果		

1 基本項目	事務事業名	妊産婦健康診査事業		担当部署	健康センター		
	予算事業名	妊産婦健康診査事業		係名	母子保健係		
	事業区分	法定受託事務		電話番号	0765-24-3999		
	事業期間	開始年度	S44	終了年度	当面継続		
	総合計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち			予算科目	一般会計
		政策名	8 総合的な子育て支援対策の推進			款	衛生費
		施策名	21 子どもたちの健やかな成長支援			項	保健衛生費
基本事業名		21-1 母と子の健康づくりの推進			目	母子保健事業費	
				市民協働の状況	協働になじまない		

2 事業概要	事業概要	定期的な妊婦健康診査で妊娠経過、合併症及び偶発症について観察し、流・早産、妊娠高血圧症候群、子宮内胎児発育遅延の防止等母と児の障害予防を図る。
	対象	市内に住所を要する妊産婦
	手段(活動指標)	妊娠届出時に妊婦一般健康診査受診票(14回分)、妊婦精密健康診査受診申請書、産婦一般健康診査受診申請書を交付する。更に、必要な方には、申請に基づき妊婦精密健康診査受診票、産婦一般健康診査受診票を交付する。
	意図(成果指標)	妊娠経過、合併症及び偶発症について観察し、流・早産、妊娠高血圧症候群、子宮内胎児発育遅延の防止に努めることで、正常な分娩を行う事ができる。母と児の健康の保持を図る。

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 妊婦一般健康診査受診者数(14回延べ)	人	4,400	3,514	4,100	3,482	84.9%	3,500
	② 妊婦精密健診受診者数	人	15	13	15	22	146.7%	20
	③ 産婦一般健診受診者数	人	90	75	90	96	106.7%	95
	④ 産婦健康診査発行率(発行数/妊娠届出数)	%	29.0	24.2	27.3	34.4	1.3	27.3
	⑤ 低出生体重児率	%	8.7	8.7	8.0	年末公表予定		8.0
	⑥							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	174,000	173,371	171,000	116,449	-32.8%	162,000
	② 委託料	円	26,404,679	24,495,243	25,852,269	25,043,643	2.2%	28,677,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	1,798,000	939,585	1,137,720	1,033,245	10.0%	1,011,000
	支出合計(A)	円	28,376,679	25,608,199	27,160,989	26,193,337	2.3%	29,850,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円	8,491,000	7,338,000	270,000	287,000	-96.1%	270,000
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	19,885,679	18,270,199	26,890,989	25,906,337	41.8%	29,580,000
	収入合計	円	28,376,679	25,608,199	27,160,989	26,193,337	2.3%	29,850,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	7	7	6	5	-28.6%	7
	② 年間所要時間	時間	840	840	520	400	-52.4%	840
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	3,528,000	3,528,000	2,184,000	1,680,000	-52.4%	3,528,000
	総費用(A+B)	円	31,904,679	29,136,199	29,344,989	27,873,337	-4.3%	33,378,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	妊娠届出時に妊婦一般健康診査受診票(14回分)、妊婦精密健康診査受診申請書、産婦一般健康診査受診申請書を交付した。必要な方には、申請に基づき妊婦精密健康診査受診票、産婦一般健康診査受診票を交付した。	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
妥当性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
有効性	有効性		A	目標達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効率性	効率性		B	コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
	1次評価(課長総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後の評価結果(課題及び今後の方針)	安全な出産を迎える上で、妊娠中の健康管理は重要になってくる。そのためには最低限必要な妊婦健康診査の時期や内容が定められており、今後も公費助成14回が確保できるよう継続していく。			評価結果		

1 基本項目	事務事業名	妊産婦乳児訪問指導事業		担当部署	健康センター		
	予算事業名	妊産婦乳児訪問指導事業		係	母子保健係		
	事業区分	法定受託事務		電話番号	0765-24-3999		
	事業期間	開始年度	H9	終了年度	当面継続		
	総合計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち			予算科目	一般会計
		政策名	8 総合的な子育て支援対策の推進			款	衛生費
施策名		21 子どもたちの健やかな成長支援			項	保健衛生費	
	基本事業名	21-1 母と子の健康づくりの推進		目	母子保健事業費		
					市民協働の状況	協働になじまない	

2 事業概要	事業概要	妊婦訪問は、初妊婦及び転入した妊婦等が妊娠8-9か月頃に、母子保健推進員または保健師が訪問する。新生児や未熟児訪問は、出生連絡票や医療機関からの連絡を基に、助産師または保健師が実施する。市外に里帰りしている母子、低出生体重児については、それぞれ里帰り先の市町村に訪問を依頼する。訪問指導の結果、必要があれば事後指導につなげる。
	対象	初妊婦及び転入した妊婦。市内に在住または滞在している新生児とその保護者
	手段(活動指標)	権限移譲された未熟児等訪問指導について、産科医療機関との連携を強化し、タイムリーな訪問指導を実施することで、安心して子育てができるようにする。産後うつ等の早期の把握のために、エンジン質問表等を用いる。
	意図(成果指標)	児が順調に発育・発達することができる。 保護者が育児に対する不安を軽減できる。

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度		26年度 計画	
			計画	実績	計画	実績		達成率
活動指標	① 妊婦訪問指導件数(実)	件	140	129	130	224	172.3%	130
成果指標	② 新生児訪問指導件数(実)	件	230	216	230	227	98.7%	230
	③ 未熟児等訪問件数(実)	件	-	-	40	55	137.5%	40
	① 子育てが楽しいと答えた人の割合(4か月児)	%	98.0	97.5	98.0	98.3	100.3%	98.0
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度 当初予算額
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	
支出内訳	① 需用費	円	15,000	14,637	100,000	74,336	407.9%	108,000
	② 委託料	円	90,000	81,000	88,000	78,750	-2.8%	88,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	787,000	713,720	1,194,000	961,755	34.8%	1,476,000
	支出合計(A)	円	892,000	809,357	1,382,000	1,114,841	37.7%	1,672,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						140,000
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	892,000	809,357	1,382,000	1,114,841	37.7%	1,532,000
	収入合計	円	892,000	809,357	1,382,000	1,114,841	37.7%	1,672,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	7	7	6	5	-28.6%	7
	② 年間所要時間	時間	860	860	950	580	-32.6%	860
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	3,612,000	3,612,000	3,990,000	2,436,000	-32.6%	3,612,000
	総費用(A+B)	円	4,504,000	4,421,357	5,372,000	3,550,841	-19.7%	5,284,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	今年度から未熟児等訪問が県から権限委譲された。産科医療機関との連携、タイムリーな訪問を心がけた。	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
妥当性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
有効性	有効性		A	目標達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効率性	効率性		A	コスト効率	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
	1次評価(課長総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後の評価(課題及び今後の方針)			助産師や保健師が妊産婦や新生児の家庭を訪問し、児の発育や発達の確認と産後うつ等の早期発見に努めている。また、具体的に相談に応じることで、育児の不安軽減や虐待防止に結びつく。今年度から未熟児等の訪問が市に移譲され、妊娠中から一貫した支援を行うことができるようになった。	評価結果		

1 基本項目	事務事業名	乳児家庭全戸訪問事業		担当課	健康センター		
	予算事業名	乳児家庭全戸訪問事業		係名	母子保健係		
	事業区分	法定受託事務		電話番号	0765-24-3999		
	事業期間	開始年度	終了年度	当面継続	予算科目	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち			款	衛生費
		政策名	8 総合的な子育て支援対策の推進			項	保健衛生費
		施策名	21 子どもたちの健やかな成長支援			目	母子保健事業費
	基本事業名	21-3 養育支援体制の充実		市民協働の状況	協働になじまない		

2 事業概要	事業概要	2～3か月児をもつ家庭に対し、保健師や母子保健推進員（市長から委嘱）が家庭訪問を行い、保健サービス・予防接種・子育て支援サービスの紹介を行うとともに育児不安などの把握に努める。母子保健推進員は、保護者と市（保健師）とのパイプ役として育児支援を行う。
	対象	2～3か月児をもつ全家庭
	手段（活動指標）	2～3か月児をもつ全家庭に対し、保健師や母子保健推進員が家庭訪問を行う。
	意図（成果指標）	初妊婦や乳児を持つ育児中の母親が、各種保健サービスや子育て支援サービスについて知り、必要なときに利用することができることで、育児不安の軽減や解消ができる。

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 乳児家庭訪問数	件	269	256	250	290	116.0%	290
	②							
	③							
成果指標	① 乳児家庭訪問率	%	95.0	94.1	98.0	97.3	99.3%	98.0
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	79,000	69,796	79,000	69,407	-0.6%	79,000
	② 委託料	円	240,000	191,550	224,000	195,200	1.9%	208,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	8,000	7,200	8,000	7,200	0.0%	8,000
	⑤ その他	円	300,000	278,680	309,000	277,868	-0.3%	310,000
	支出合計（A）	円	627,000	547,226	620,000	549,675	0.4%	605,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	313,000	273,000	310,000	274,000	0.4%	201,000
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他（使用料、雑入等）	円						
	⑤ 一般財源	円	314,000	274,226	310,000	275,675	0.5%	203,000
	収入合計	円	627,000	547,226	620,000	549,675	0.4%	605,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	7	7	5	5	-28.6%	6
	② 年間所要時間	時間	1,100	1,100	800	420	-61.8%	1,000
	③ 人件費（②×④ 4,200円）（B）	円	4,620,000	4,620,000	3,360,000	1,764,000	-61.8%	4,200,000
	総費用（A+B）	円	5,247,000	5,167,226	3,980,000	2,313,675	-55.2%	4,805,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	2～3か月児をもつ保護者に対し、保健師や母子保健推進員が全家庭訪問を行い保健サービス・子育て支援サービスの紹介や育児不安などの把握に努めた。 長期の里帰り等で訪問ができなかった家庭には、電話や子育て支援センターの親子の集い等で状況を確認した。	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
妥当性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
有効性	有効性		A	目標達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効率性	効率性		A	コスト効率	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
	1次評価（課長総括）		A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後の評価（課題及び今後の方針）	育児不安の早期発見や母子保健サービスの情報提供を早期に行うことにより、必要な親子に必要な育児支援を行うことに結びつく。また、虐待予防の観点から見てもこの事業を継続して実施していく事が重要である。			評価結果		

1 基本項目	事務事業名	養育支援家庭訪問事業			担当課	健康センター		
	予算事業名	養育支援家庭訪問事業			係	母子保健係		
	事業区分	法定受託事務			電話番号	0765-24-3999		
	事業期間	開始年度	平成21年度	終了年度	当面継続			
	総合計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち				予算科目	一般会計
		政策名	8 総合的な子育て支援対策の推進				款	衛生費
		施策名	21 子どもたちの健やかな成長支援				項	保健衛生費
基本事業名		21-3 養育支援体制の充実			目	母子保健事業費	市民協働の状況	協働になじまない

2 事業概要	事業概要	養育支援が必要な家庭に出向き、保健師、助産師、看護師、保育士、児童相談員等が、育児相談・支援、養育者に対する身体的かつ精神的不調状態に対する相談・支援、栄養指導及び児童の自立に向けた養育相談・支援を行う。又は、ホームヘルパーなどが簡単な家事等の援助を行う。
	対象	母親の疾病や育児不安、子の健康問題等の理由により、養育支援が必要な家庭
	手段(活動指標)	養育支援の必要な家庭を訪問し、その家庭に必要な専門的相談支援や家事援助支援を行う。
	意図(成果指標)	安定した養育が家庭で行われており、虐待などが防止されている。

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 専門職による家庭訪問数(延)	件	25	57	30	40	133.3%	30
	②							
	③							
	① 訪問終結家庭数	件	5	17	5	7	140.0%	5
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	40,000	37,044	40,000	39,217	5.9%	40,000
	② 委託料	円	240,000	0	160,000			100,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	738,000	47,900	738,000	144,690	202.1%	328,000
支出合計(A)		円	1,018,000	84,944	938,000	183,907	116.5%	468,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	509,000	42,000	469,000	91,000	116.7%	156,000
	② 県支出金	円						156,000
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	509,000	42,944	469,000	92,907	116.3%	156,000
収入合計		円	1,018,000	84,944	938,000	183,907	116.5%	468,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	6	6	4	5	-16.7%	6
	② 年間所要時間	時間	480	480	440	440	-8.3%	480
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	2,016,000	2,016,000	1,848,000	1,848,000	-8.3%	2,016,000
総費用(A+B)		円	3,034,000	2,100,944	2,786,000	2,031,907	-3.3%	2,484,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	養育支援が必要な家庭に保健師、助産師が出向き、育児相談・支援、養育者に対する身体的かつ精神的不調状態に対する相談・支援、栄養指導及び児童の自立に向けた養育相談・支援を行う。25年度は、ヘルパーが必要な対象者はいなかった。	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
	妥当性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり
目的の妥当性					<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
対象の妥当性					<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
目標達成度					<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
類似事業の有無					<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
有効性	有効性		A	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
効率性	効率性		B	負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				1次評価(課長総括)		A	計画どおり事業を実施することが適当
後の評価(課題及び今後)	評価結果	妊娠中から養育支援が必要になると思われるケースが増えてきている。虐待予防の観点から、こども課と連携を図りながらこの事業は継続していく。			評価結果		

1 基本項目	事務事業名	乳幼児健康診査事業		担当部署	健康センター		
	予算事業名	乳幼児健康診査事業		係	母子保健係		
	事業区分	法定受託事務		電話番号	0765-24-3999		
	事業期間	開始年度	終了年度	当面継続	予算科目	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち			款	衛生費
		政策名	8 総合的な子育て支援対策の推進			項	保健衛生費
		施策名	21 子どもたちの健やかな成長支援			目	母子保健事業費
基本事業名		21-1 母と子の健康づくりの推進			市民協働の状況	協働になじまない	

2 事業概要	事業概要	児の疾病又は異常の早期発見と発達の確認を目的とする。また、保健指導や相談を行い保護者の育児不安を軽減するとともに、児童虐待の防止を図る。集団健診（4か月児、1歳6か月児、3歳児健診）と医療機関委託健診（8-10か月児）を実施。健診の結果、精密健診が必要な児に対して、精密健診票を発行。幼児健診の事後フォローとして、幼児発達支援教室「あそび一ぱ」を実施。
	対象	市内に在住する乳幼児（4か月児、8-10か月児、1歳6か月児、3歳6か月児）と保護者。健診等で発達の相談、支援が必要な親子
	手段（活動指標）	4か月児、8-10か月児（医療機関委託）、1歳6か月児、3歳児健診、1歳6か月児を対象に、6か月毎、4回フッ素塗布を実施。幼児健診の事後フォローとして、幼児発達支援教室「あそび一ぱ」を実施。
	意図（成果指標）	乳幼児の疾病又は異常の早期発見と発達の確認を行い、必要な乳幼児には早期治療や療育を行なうことにより、乳幼児の健康の保持増進を図る。保護者の育児不安が軽減し、育児不安や児の育てにくさからくる児童の虐待の防止を図る。幼児健診の精神発達面での経過観察児を対象に、幼児発達支援教室を実施することで、保護者が育児発達に応じた関わり方を学び、さらに児の養育にあたり日常生活での困りごとに対して相談に応じることで、保護者の不安軽減を図り、児の健全な育児発達を支援する。

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動指標	① 4か月児健診受診率	%	100.0	97.4	100.0	100.0	100.0%	100	
	② 1歳6か月児健診受診率	%	99.0	99.6	100.0	99.7	99.7%	100	
	③ 3歳6か月児健診受診率	%	99	98.7	100.0	99.7	99.7%	100	
	成果指標	① 子育てが楽しいと答えた人の割合	%	98.0	97.5	98.0	98.3	100.3%	98.0
		② 幼児発達支援教室から専門機関等につながった割合	%	30.0	30.0	30.0	30.0	100.0%	30
		③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	303,000	260,232	295,000	287,870	10.6%	284,000
	② 委託料	円	3,101,000	2,549,348	2,976,000	2,522,278	-1.1%	2,816,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	250,000	150,000	250,000	200,000	33.3%	250,000
	⑤ その他	円	2,286,000	2,215,458	2,336,000	2,191,803	-1.1%	2,401,000
	支出合計（A）	円	5,940,000	5,175,038	5,857,000	5,201,951	0.5%	5,751,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円	350,000	360,000	360,000	320,000	-11.1%	360,000
	③ 地方債	円						
	④ その他（使用料、雑入等）	円						
	⑤ 一般財源	円	5,590,000	4,815,038	5,497,000	4,881,951	1.4%	5,391,000
	収入合計	円	5,940,000	5,175,038	5,857,000	5,201,951	0.5%	5,751,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	9	9	8	6	-33.3%	8
	② 年間所要時間	時間	2,060	2,060	2,000	1,000	-51.5%	1,800
	③ 人件費（②×④ 4,200円）（B）	円	8,652,000	8,652,000	8,400,000	4,200,000	-51.5%	7,560,000
	総費用（A+B）	円	14,592,000	13,827,038	14,257,000	9,401,951	-32.0%	13,311,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	4か月児、8-10か月児（医療機関委託）、1歳6か月児、3歳児健診、1歳6か月児を対象に、6か月毎、4回フッ素塗布を実施。幼児健診の事後フォローとして、幼児発達支援教室「あそび一ぱ」を実施。平成26年度から、つくし学園からも協力をお願いする予定。	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
妥当性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
有効性	有効性		A	目標達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効率性	効率性		A	コスト効率	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
	1次評価（課長総括）		A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	
	後の評価結果（課題及び今後の方針）	乳幼児期の節目の月齢に健診を行い、児の育児発達を経過を追って確認することで、疾病や発達異常の早期発見、早期支援に結びつく。また、育児不安や母の心の病等からくる育児困難事例も増えており、健診後のフォローがますます重要である。関係機関と連携した支援体制を整えながら、今後も継続していく。			評価結果		

1 基本項目	事務事業名	不妊治療費助成事業			担当部署	課名	健康センター	
	予算事業名	不妊治療費助成事業				係名	母子保健係	
	事業区分	自治事務				電話番号	0765-24-3999	
	事業期間	開始年度	H16年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち				款	衛生費
		政策名	8 総合的な子育て支援対策の推進				項	保健衛生費
		施策名	22 子育て家庭への応援体制の充実				目	母子保健係
	基本事業名	22-1 子育ての経済的負担に対する支援			市民協働の状況	協働になじまない		

2 事業概要	事業概要	不妊医療費助成事業は、体外受精・顕微授精による特定不妊治療を受けている夫婦（法律上の夫婦に限る。）に対し、その不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的な負担の軽減を図り、もって少子化対策に寄与することを目的とする。	
	対象	1年以上魚津市内に居住し市に住所のある夫婦で、指定医療機関（県指定）で保険診療以外の特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を受けた人	
	手段（活動指標）	保険診療以外の体外受精・顕微授精不妊治療費に対して、1年度30万円を限度として助成する（ただし1回の助成額の限度は20万円）。申請書の提出を受け、内容を審査し助成額の決定と交付をする。	
	意図（成果指標）	子どもが欲しくても授からず、特定不妊治療を受けている夫婦に対して、高額な治療費の一部を助成することで経済的な負担の軽減を図り、治療の継続を支援する。	

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 補助件数（延）	件	35	36	35	69	197.1%	60
	②							
	③							
	① 補助件数（延）/申請した夫婦の数（実）	件	1.1	1.1	1.1	1.8	163.6%	1.8
	② 妊娠の割合	%	30	28.5	30.0	21.1	70.3%	25.0
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円						
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	5,060,321	5,060,321	8,204,011	8,204,011	62.1%	8,100,000
	⑤ その他	円						
	支出合計（A）	円	5,060,321	5,060,321	8,204,011	8,204,011	62.1%	8,100,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他（使用料、雑入等）	円						
	⑤ 一般財源	円	5,060,321	5,060,321	8,204,011	8,204,011	62.1%	8,100,000
	収入合計	円	5,060,321	5,060,321	8,204,011	8,204,011	62.1%	8,100,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	2	-33.3%	3
	② 年間所要時間	時間	180	180	180	200	11.1%	200
	③ 人件費（②×@ 4,200円）（B）	円	756,000	756,000	756,000	840,000	11.1%	840,000
	総費用（A+B）	円	5,816,321	5,816,321	8,960,011	9,044,011	55.5%	8,940,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	保険診療以外の体外受精・顕微授精不妊治療費に対して、1年度30万円を限度として助成した（ただし1回の助成額の限度は20万円）。	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					1	2	3
妥当性	妥当性		B	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 1 妥当である	<input checked="" type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
有効性	有効性		A	目標達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
				上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
効率性	効率性		B	コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
				負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない
	1次評価（課長総括）		B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
	後の評価結果（課題及び今後の方針）	国や県においては、特定不妊治療対象者の年齢や補助回数が見直しが行われている。この事業は継続するが、申請者の年齢が高くなっており、対象者の見直しをする必要がある。			評価結果		

1 基本項目	事務事業名	地域子育て支援センター事業		担当 課名	健康センター			
	予算事業名	地域子育て支援センター事業			係名	母子保健係		
	事業区分	自治事務		担当 部署	電話番号	0765-24-3999		
	事業期間	開始年度	H8		終了年度	当面継続		
	総合 計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち			予算 科目	会計	一般会計
		政策名	8 総合的な子育て支援対策の推進				款	民生費
		施策名	23 子育て環境づくりの推進				項	児童福祉費
基本事業名		23-3 子育て支援ネットワークの構築			目		子育て支援センター費	
				市民協働の状況	協働している			

2 事業概要	事業概要	魚津愛育園と健康センターに子育て支援センターを設置し、子育てアドバイザーを配置して子育て支援事業を行っている。
	対象	子育て中の家族、これから親になろうとする人
	手段 (活動指標)	健康教育、育児相談、親子の集いの広場の提供等
	意図 (成果指標)	親が子育てを楽しんでいると思う。

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動 指標 成果 指標	① 子育て支援センターのべ利用者数	人	8,700	8,220	8,700	10,029	115.3%	8,700
	② 育児相談件数	件	2,000	1,532	2,000	1,398	69.9%	2,000
	③							
	① 子育てを楽しんでいる親の割合	%	98.0	97.5	97.0	98.7	101.8%	98.0
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出 内訳	① 需用費	円	835,000	813,856	737,000	693,753	-14.8%	760,000
	② 委託料	円	150,000	102,500	120,000	97,500	-4.9%	75,000
	③ 工事請負費	円	0	0	0			
	④ 負担金補助及び交付金	円	162,000	98,154	827,000	459,683	368.3%	430,000
	⑤ その他	円	6,055,000	5,785,435	10,440,000	9,058,344	56.6%	6,273,000
	支出合計 (A)	円	7,202,000	6,799,945	12,124,000	10,309,280	51.6%	7,538,000
財源 内訳	① 国庫支出金	円	3,449,000	3,261,000	7,714,000	6,859,000	110.3%	2,418,000
	② 県支出金	円						2,418,000
	③ 地方債	円						
	④ その他 (使用料、雑入等)	円	28,000	15,705	38,000	20,701	31.8%	27,000
	⑤ 一般財源	円	3,725,000	3,523,240	4,372,000	3,429,579	-2.7%	2,675,000
	収入合計	円	7,202,000	6,799,945	12,124,000	10,309,280	51.6%	7,538,000
人件 費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	3	-40.0%	3
	② 年間所要時間	時間	1,060	1,060	1,060	600	-43.4%	1,000
	③ 人件費 (②×@ 4,200 円) (B)	円	4,452,000	4,452,000	4,452,000	2,520,000	-43.4%	4,200,000
	総費用 (A+B)	円	11,654,000	11,251,945	16,576,000	12,829,280	14.0%	11,738,000

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>健康教育・育児相談、集いの広場の提供、子育て情報の提供を行った。 H24までに参加者数の少なかった「マタニティセミナー」を「妊婦さんの集い」と改め、実際に乳児と妊婦がふれあう事業に改善した。 また、H26に魚津愛育園の閉園が見込まれたため、H26以降の子育て支援センターのあり方について、関係課等との協議を続けた。</p>	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目	内容		
					<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない
	有効性		B	目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施
				類似事業の有無	<input type="checkbox"/> 1 なし	<input checked="" type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり
効率性		B	上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い	
			コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い	
			実施主体の適正化	<input type="checkbox"/> 1 適正である	<input checked="" type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない	
	負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない			
	1次評価 (課長総括)		B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
	後(課題及び今後の方針)の評価結果	直営型の子育て支援センターがH26年度から1カ所となり、民間保育園で1カ所開設する事となる。児童館型3カ所もあり、支援センターとしてそれぞれの特徴を生かすとともに連携を取りながら、この事業を継続していく。			評価結果		

1 基本項目	事務事業名	乳幼児予防接種事業			担当 課名	健康センター		
	予算事業名	予防接種事業				係名	母子保健係	
	事業区分	法定受託事務			電話番号	24-3999		
	事業期間	開始年度	昭和23年	終了年度	当面継続	予 算 科 目	一般会計	
	総合 計画	目標名	基本目標3 健やかで笑顔あふれるまち				款	衛生費
		政策名	9 健康で安心して暮らせる社会の構築				項	保健衛生費
		施策名	25 健康づくりの推進				目	予防費
基本事業名		25-3 予防対策の推進			市民協働の状況	協働になじまない		

2 事業概要	事業概要	伝染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防するため、定期予防接種を実施する。	
	対象	乳幼児、児童	
	手段 (活動指標)	ジフテリア・破傷風混合接種2期は集団接種、それ以外は指定医療機関での個別接種により実施。	
意 (成果指標)	伝染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防できる。		

3 指標	指標名	単位	24年度		25年度			26年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動 指標 成果 指標	① 三種又は四種混合予防接種者数	人	1,200	1,313	1,200	1,252	104.3%	1,200
	② 麻しん・風しん混合第2期予防接種者数	人	350	312	350	325	92.9%	350
	③ BCG予防接種者数	人	290	272	280	265	94.6%	280
	① 百日せき罹患患者数(定点医療機関報告)	人	0	0	0	0		0
	② 麻しん罹患患者数	人	0	0	0	0		0
	③ 小児肺結核新規登録者数	人	0	0	0	0		0

4 コスト情報	区分	単位	24年度		25年度			26年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出 内訳	① 需用費	円	4,189,000	3,693,082	553,000	480,055	-87.0%	543,080
	② 委託料	円	66,966,000	61,974,790	59,410,000	52,629,220	-15.1%	61,700,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円		0				173,000
	⑤ その他	円	1,513,000	1,194,996	788,000	607,812	-49.1%	1,380,000
支出合計(A)		円	72,668,000	66,862,868	60,751,000	53,717,087	-19.7%	63,796,080
財源 内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円	10,422,000	10,874,000			-100.0%	
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤ 一般財源	円	62,246,000	55,988,868	60,751,000	53,717,087	-4.1%	63,796,080
収入合計		円	72,668,000	66,862,868	60,751,000	53,717,087	-19.7%	63,796,080
人件 費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	3	-40.0%	3
	② 年間所要時間	時間	1,220	1,220	1,000	600	-50.8%	800
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	5,124,000	5,124,000	4,200,000	2,520,000	-50.8%	3,360,000
総費用(A+B)		円	77,792,000	71,986,868	64,951,000	56,237,087	-21.9%	67,156,080

5 取組内容	平成25年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>次の予防接種を対象者に接種した。BCG接種を個別接種化とし、日本脳炎予防接種では、特例に係る対象者に積極的な勧奨を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒブ・小児肺炎球菌：生後2か月以上60か月に至るまでの児 ・ジフテリア・破傷風・百日せき・ポリオ：生後3か月以上90か月未満の児 ジフテリア・破傷風：小学6年生 ・BCG：生後1年に至るまでの児(生後5か月から生後8か月の児) ・麻しん・風しん：生後12か月以上24か月に至るまでの児、小学校入学前1年間にある児 ・日本脳炎：1期 生後6か月から生後90か月に至るまでの児、2期 9歳以上13歳未満の児 ・子宮頸がん予防：中学1年から高校1年相当の女子(平成25年6月14日、厚生労働省により積極的な接種勧奨の一時差し止めが決定した。) 	

6 評価	評価の視点	H24評価	H25評価	評価項目		内容		
				評価項目	内容	1	2	3
妥当性	妥当性		A	自治体関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない	
				目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない	
				対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1 妥当である	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 妥当でない	
				目標達成度	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 目標どおり	<input type="checkbox"/> 3 低い・未実施	
有効性	有効性		A	類似事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 1 なし	<input type="checkbox"/> 2 検討の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 あり	
				上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> 1 高い	<input type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い	
効率性	効率性		B	コスト効率	<input type="checkbox"/> 1 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 2 普通	<input type="checkbox"/> 3 低い	
				実施主体の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない	
1次評価 (課長総括)			A	負担割合の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 1 適正である	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地あり	<input type="checkbox"/> 3 適正でない	
				計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要		
後(課題及び今)	評価結果	法令等により、定期の予防接種は市に義務づけられている。接種率を向上することで感染症の拡大を予防するとともにこどもの健康を維持するため、今後も継続する必要がある。また、H26年10月から水痘予防接種が追加となるため、スムーズに実施する必要がある。				評価結果		